

人口ビジョン(2060年)

目指すべき将来の方向

- ひと・仕事・学びの好循環を創る
- 若い世代が子どもを産み育てやすい社会をつくる
- 時代に適応したコンパクトなまちをつくる
- 広域連携により持続可能な地域をつくる

人口の将来展望

- ◆2060年に人口30万人を維持
 - ・取組みを進めて出生率が高まった場合(合計特殊出生率:2040年=1.8)
- ◆2060年に人口33万人を展望
 - ・市民の意識と行動が変わり成果が上積みされ出生率が高まった場合(合計特殊出生率:2040年=2.07)

注)基本目標及び重要業績評価指標に記載の矢印は見直し後の目標値を示す

総合戦略(平成27年度~31年度)

5つの戦略と基本目標

具体的施策と重要業績評価指標

「ひと・仕事・学び」の好循環(緩和策)

好循環を支える「まち」の創生(適応策)

1 活力あるしごとづくり戦略

- ・雇用増加数:2,500人⇒4,600人
- ・新規創業者数(累計):600人⇒1,000人

2 ひとの流れづくり戦略

- ・首都圏からの転入者数:1,200人
- ・休日における滞在人口率:1.1倍

3 安心子育て環境づくり戦略

- ・合計特殊出生率:1.65
- ・婚姻届提出数:2,100件

4 快適で暮らしやすいまちづくり戦略

- ・居住誘導区域内人口[市街化区域内人口]:維持296,108人
- ・中心市街地の人口:10,500人

5 広域連携による地域づくり戦略

- ・首都圏から東三河地域への転入者数:2,400人
- ・東三河地域の製造品出荷額等:4兆8,000億円

1-1 新産業の創出支援

- ・新産業創出関連事業参加者数:6,000人⇒10,000人

1-2 産業集積の促進

- ・産業用地における立地企業数:39社⇒45社

1-3 就業促進・人材育成支援

- ・産業人材育成事業参加者数:2,500人⇒5,000人

1-4 事業者の経営力強化

- ・制度融資総額に占める設備資金金融資産額の割合:27%

2-1 若者定住都市の推進

- ・若者(15~24歳)の人口:維持(39,885人)

2-2 交流人口の拡大

- ・市内宿泊施設宿泊者数:750,000人

2-3 移住・還流の促進

- ・全国移住ナビのアクセス状況ランキング:50位以内⇒30位以内

3-1 結婚、出産、子育ての包括的支援体制の構築

- ・母子健康手帳交付時における妊婦への面接率:100%

3-2 子育て支援サービスの充実

- ・認定こども園数:21園

3-3 地域ぐるみの子育て応援

- ・子育て応援企業認定事業所数(累計):200事業所⇒280事業所

4-1 コンパクト+ネットワークの推進

- ・1日当たりの公共交通利用者数:維持(79千人/日)

4-2 魅力ある中心市街地の整備

- ・中心市街地休日歩行者通行量:60,000人

4-3 既存ストックのマネジメント強化

- ・空家バンクによる空家の利活用件数(累計):30件

5-1 広域連携による活力ある経済生活圏の形成

- ・広域連携事業実施数:320件

5-2 広域連携による持続可能な地域づくり

- ・東三河広域連合による共同処理事務本格実施数:8事業